

## 主催者あいさつ

愛知県副知事 稲垣隆司



ご紹介いただきました愛知県副知事の稲垣でございます。本日は大変お忙しい中、また暑い中、男女共同参画社会づくりに向けた連続講座に、このように多くの方にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。本来ならば神田知事が出席して、皆様方にごあいさつ申しあげるのが本意でございますけれど、今日は他に所用がございまして、私に代わりに行ってこいということでございまして、知事からメッセージを預かってきておりますので、代読をさせていただきたいと思っております。

「少子高齢化の今 男女が共に輝く社会を目指して」を基本テーマにした連続公開講座を、あいち男女共同参画社会推進・産学官連携フォーラムの主催により開催しましたところ、このように多くの皆様方にご参加いただきましたこと、厚く御礼申しあげます。このフォーラムは愛知県、名古屋市、愛知県経営者協会、連合愛知、名古屋大学が構成員となり、この分野において全国で初めて、産学官が連携して設立されたものでございます。産業界、大学、行政が有機的に連携し、相乗効果を発揮することにより、男女共同参画社会の実現をめざすものであります。

さて、先日、厚生労働省から公表されました合計特殊出生率は、昨年、国全体では過去最低の1.25、本県におきましても1.30と、極めて深刻な少子化の時代を迎えております。一方、65歳以上の高齢者は既に120万人を超えておまして、2025年には180万人を超え、4人の1人が65歳以上の高齢者になることが予想されるなど、本県は人口減少、超高齢社会を迎えようとしております。

こうした時代においては、女性の労働参加の一層の向上や、子どもを安心して産み育てることができる環境の確立など、男女がともに仕事と子育て、介護等を両立することができる社会の実現に向けて積極的に挑戦していくことが必要であり、それこそが県民の皆様一人ひとりにとって、将来へ夢や希望をもてる社会づくり、そして活力ある豊かな地域づくりにつながるものと考えております。

本県ではこれまで、「あいち男女共同参画プラン21」の策定、「愛知県男女共同参画推進条例」の制定など、男女共同参画社会の実現に向けて、積極的に取り組んできましたが、こうした取組をさらに前進させるとともに、社会情勢の変化を踏まえ

た新しい視点での取組を進めるため、現在、「あいち男女共同参画プラン21」の改定作業を進めております。是非皆様方からも積極的なご意見ご指導を賜りたいと考えております。

本日は男女共同参画社会に関する諸問題につきまして、関係者の皆さんが忌憚のない意見や情報交換をしていただく絶好の機会でございます。本講座が男女共同参画社会の一層の推進を期する有意義なものとなりますよう、ご期待申し上げます。

終わりに本講座の開催に当たりまして、ご尽力をいただきました関係者の皆様に心からお礼を申し上げますとともに、本会場にお集まりいただきました皆様方のますますのご活躍とご健勝をお祈り申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。

平成18年8月2日、愛知県知事、神田真秋、代読でございます。本日は誠にありがとうございました。